

昌子の広場 第228報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10
 自宅Tel 0725-54-2626
 Fax 020-4669-6920
 事務所Tel(Fax)0725-53-4451
 Email masakokob@yahoo.co.jp
 http://masako-hiroba.info/
 ホームページもご覧下さい



目次

- ・令和3年度予算が可決 P1
- ・令和3年度予算の重点項目 P2-3
- ・実質的財政負担、コロナの状況について P4

令和3年度予算可決 実質的財政負担について

令和3年度予算が可決されました。コロナ禍の厳しい予算！

単位百万円

	令和3年度	令和2年度	増減	増減率(%)
一般会計	72,900	72,700	200	0.3
特別会計	38,736	38,533	203	0.5
①国民健康保険事業	20,717	20,626	91	0.4
②公用地先行取得事業	526	1,412	▲ 886	▲ 62.7
③介護保険特別会計	15,023	14,093	930	6.6
④後期高齢者医療事業	2,424	2,359	65	2.8
⑤浄化槽事業	46	43	3	7.0
企業会計	13,762	16,872	▲ 3,110	▲ 18.4
①水道事業	4,493	4,566	▲ 73	▲ 1.6
②公共下水道	6,649	7,127	▲ 478	▲ 6.7
③病院事業	2,619	5,178	▲ 2,559	▲ 49.4
総合計	125,398	128,105	▲ 2,707	▲ 2.1

令和3年度予算が可決されました。総額で1254億円、一般会計は729億円で骨格予算とは言え前年度比微増です。財源対策として貯金を取り崩し基金からの繰入47億円、借金である市債の発行84億円等で賄う厳しい予算です。（予算項目の詳細は次頁以降で紹介）

今回のコロナ禍の影響で市税収入が大幅に減少しています。市税収入はR1年度をピークに減少に転じていますが、今回の予算では一気に減少しています。（前年度比▼8.0%）

これに伴い市の貯金にあたる基金残高は創発プランの70億円の計画から30億円に減少しています。決算での不用額により減少幅は小さくなると思われませんが、いずれも財政規律が大幅に悪化しています。コロナの収束が見通せない中で、今後の財政運営は厳しい状況が続くと思います。

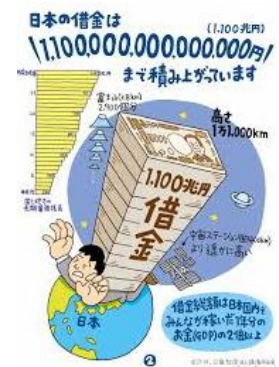
市税と基金残高の推移



基金残高の状況

(単位百万円)

	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末 (予算額)	R3年度末 (予算額)
基金額	6,642	6,412	6,805	5,628	2,894
創発プラン(案)での設定額	6,642	6,412	6,300	7,279	7,032
新型コロナを考慮した基金残高	6,642	6,412	6,805	6,438	5,708

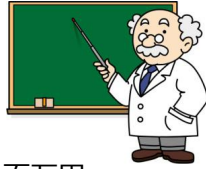


令和3年度の重点事業について

令和3年度重点事業は

学校教育・生涯教育環境の充実

- 小中一貫校（仮称槇尾学園）の整備 68百万円
- いずみ希望塾 66百万円
学校外での学習機会の提供
- 久保惣記念美術館茶室改修 24百万円
- 東京オリンピック・パラリンピック関連事業 15百万円
- 中学校体育館空調設備整備事業 449百万円

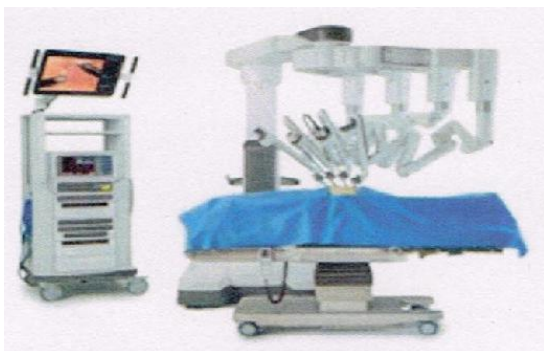


出産・子育て環境の充実



- 待機児童解消の取組 110百万円
民間認定こども園等の改修助成で保育定員の拡大
- 子ども医療費助成事業 748百万円
医療費助成の範囲を年度末年齢18歳まで拡大

健康・福祉施策の充実



- 市立総合医療センター医療機器整備事業 500百万円
心臓血管外科手術用医療機器等の充実
- 新型コロナウイルス感染対策事業 1075百万円
ワクチン接種やマスク・消毒液の購入等の感染予防対策の実施

新庁舎整備事業

3、498百万円



新庁舎棟の令和3年5月供用開始春竣工を目指し、建設工事を行う（総事業費約95億円）

和泉中央駅前広場改修

461百万円



交通結節機能の強化を図るとともに、誰もが快適に安心して利用できる駅前広場に改修（総事業費約6億円）

にぎわいのあるまちづくり

- 北信太駅前整備事業 428百万円
北信太駅前整備基本計画に基づき、駅の東西を結ぶ自由通路及び西側広場等の実施設計や仮設駐輪場整備工事
- 足洗公園整備事業 140百万円
総事業費約12億円
- 信太山丘陵里山自然公園整備事業 257百万円
（内用地買戻し額約2.1億円）
- 道の駅（いずみ山愛の里）改修事業 255百万円
- （仮称）和泉市農業振興研究施設整備事業 112百万円

その他の事業

- ①学校水泳授業屋内活用モデル事業 8百万円
小中学校の水泳授業の民間等屋内プールの活用について、モデル校の選定、課題抽出
- ②池上曾根遺跡保存活用事業 68百万円
適正な保全と環境拠点としての活用を促進
- ③保育所等入園選考業務の効率化（AI活用）6百万円
AI入所選考システムの導入
- ④結婚新生活支援事業 15百万円
結婚世帯の経済的不安の解消のための生活支援補助金の所得条件の緩和
・対象年齢34歳以下から39歳以下へ
・所得制限340万円未満から400万円未満へ
- ⑤緊急通報装置設置助成事業 25百万円
急病や災害等の緊急事態発生時に早期に通報できる人感センサーの設置に支援
- ⑥高齢者おでかけ支援事業 41百万円
おでかけ支援チケットの配布
- ⑦老人集会所活性化事業 65百万円
横山老人集会所の建て替え工事
- ⑧宮之前橋橋梁掛替事業 42百万円
- ⑨道路橋梁維持補修事業 93百万円
- ⑩消防本部・消防署移転建替事業 156百万円
旧市立病院跡地への移転建替えに向けて実施設計
- ⑪消防ポンプ自動車更新事業 66百万円
- ⑫富秋中学校区まちづくり構想の推進 25百万円

歳入確保・コスト削減に向けた取組

- ①未利用地の売却 412百万円
(売却予定) 旧あさひ保育園、旧幸幼稚園、旧南松尾幼稚園、旧伯太第二改造住宅
- ②ふるさと元気寄付事業 941百万円
市内業者との連携による魅力ある市内特産品等の開拓及び販売促進を図るほか、ガバメント・クラウド・ファンディングの更なる推進を図る

ふるさと納税制度について(昨年度迄の実績から)

高額返礼品が問題となり制度の見直しが行われたふるさと納税制度ですが、和泉市でも高島屋の商品を返礼品のメニューに追加したこともあり、当市への寄付が大幅に増加していましたが、返礼品が市産物に限る制度の見直しで、当市への寄付が 1/10 迄減少しました。本来のふるさと納税に戻ったとも言えます。

この制度の収支について H29～R 元年の実績を整理しますと下のようになります。損益は地方交付税措置によりなんとか黒字を保っている状態です。

	H29年度	H30年度	R元年度
当市への寄付	1,688.6	1,708.2	196.1
他市への寄付に伴う市税還付	▲ 255.6	▲ 325.7	▲ 361.3
返礼品費用	▲ 1,089.1	▲ 1,059.4	▲ 84.3
損益	343.9	323.1	▲ 249.5
地方交付税措置	191.7	244.3	271.0
実質損益	535.6	567.4	21.5

市債の状況

市債現在高の状況

(単位百万円)

	H29年度末 現在高	H30年度末 現在高	R1年度末 現在高	R2年度末 (見込み)	R3年度末 (見込み)	差引 (R2-R1)
一般会計	47,073	45,842	43,841	46,264	46,583	319
うち臨時財政対策債	23,623	23,131	22,238	21,175	21,178	3
上記以外	23,450	22,711	21,603	25,089	25,405	316
公用地先行取得事業特別会計	1,260	1,141	1,345	1,205	1,228	23
浄化槽特別会計	35	37	41	46	54	8
水道事業会計	2,987	2,745	2,499	2,246	1,986	▲ 260
公共下水道事業会計	26,207	25,361	24,703	24,003	23,273	▲ 730
病院事業会計	16,748	16,611	16,247	15,101	14,706	▲ 395
合計	94,310	91,737	88,676	88,865	87,830	▲ 1,035

市の借金にあたる市債は

25 年度からほぼ 90 億円前後で推移しています。このうちの 21 億円の臨時財政対策債は国の地方交付税の財源が不足したとき、その穴埋めとして地方債を発行させる制度。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源とみて差し支えありません。但し国が約束を守った時に成り立つ話で、予断を許しません。

基金残高と市債の状況を評価

基金と市債の状況を評価する基準として、将来にわたる財政負担を見てみます。(令和元年度)

(地方債現在高+債務負担行為による次年度以降の支出予定額-積立金残高)/標準財政規模 の値は下表です。

将来にわたる実質的な財政負担

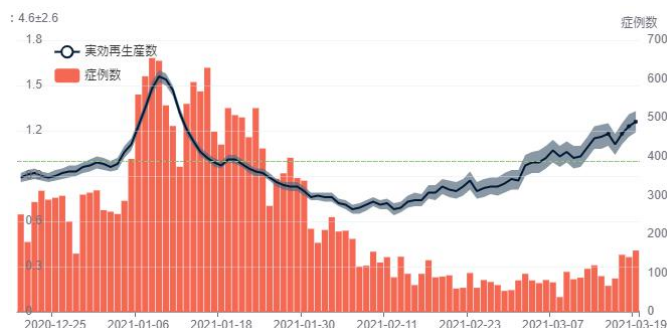
順位	団体名	実質財政負担 ÷ 標準財政規模	30年度順位
1	泉佐野市	309.0%	1
2	高石市	246.6%	2
3	交野市	218.8%	3
4	箕面市	218.2%	4
5	門真市	216.9%	7
6	守口市	213.0%	5
7	忠岡町	200.2%	11
8	泉南市	196.8%	6
9	貝塚市	192.5%	17
10	松原市	181.1%	10
11	岬町	176.7%	15
12	八尾市	173.0%	9
13	東大阪市	169.6%	8
14	阪南市	165.1%	14
15	島本町	164.2%	28
16	能勢町	156.3%	27
17	藤井寺市	151.9%	19
18	枚方市	150.4%	16
19	泉大津市	149.8%	13
20	岸和田市	148.6%	12
21	羽曳野市	143.5%	18
22	大東市	138.6%	24
23	大阪狭山市	136.3%	22
24	池田市	136.2%	21
25	河南町	135.9%	20
26	富田林市	132.7%	23
27	柏原市	121.7%	29
28	千早赤阪村	118.5%	32
29	河内長野市	115.5%	25
30	寝屋川市	112.7%	30
31	和泉市	110.9%	26
32	豊能町	110.7%	34
33	豊中市	105.4%	31
34	四條畷市	98.2%	33
35	吹田市	75.5%	35
36	茨木市	67.0%	36
37	太子町	64.7%	38
38	摂津市	49.8%	37
39	熊取町	44.5%	39
40	高槻市	35.0%	40
41	田尻町	-182.6%	41

財政が厳しいといわれている泉佐野市が最悪、続いて高石市が第2位です。その中で和泉市は31位と大幅に改善しています。しかし和泉市の標準財政規模は347億円(令和元年度決算)です。将来の実質財政負担は385億円と巨額で予断を許しません。

新型コロナ リバウンドの危機

近畿2府1県で緊急事態宣言が解除されましたが、その後感染の減少が高止まりし、一日当たりの新規感染者が100人前後で推移し、実効再生産数(一人の感染者が何人にうつすかの指数で1以上になりと感染が拡大)が1以上となり、再び感染拡大の危険性が心配されています。

以下は大阪府のコロナ感染の状況です。



<https://covid-2019.live/>から棒グラフが新規感染者数、折線が実効再生産数

緊急事態宣言後新規感染者は劇的に減少しました。感染者が何人にうつすかを示した実効再生産数は1月9日の1.56をピークに低下を続けていました。しかし2月12日の0.68をボトムに増加に転じ、直近の3月19日には1.26と1を大きく越えています。感染拡大が心配です。

昌子の日記&予定

- 3/1 総務企画委員会傍聴
- 3/5-11 令和3年予算審査委員会
- 3/17 茨木市ローズWAM 舟橋邦子さん講演会
- 3/18 子ども食堂
- 3/22,23,24 本会議
- 3/25 和泉中央駅会報配布、本会議
- 3/30 都市計画審議会傍聴
- 3/24,26,29,30,31 駅前会報配布

《事務所行事》いずれも小林昌子事務所
 連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
 事務所 TEL 0725-53-4451
 (事務所 緑ヶ丘1-3-15)

パソコン講座

- ・第2、第4週の火曜 10時~12時、
同じく 木曜 14時~16時
- 市政相談会(事前にご連絡下さい)
- ・第2、4水曜日 20:00~21:30